

障害者支援（自閉症者療育）施設 はぎの郷

令和 4 年度事業報告

1. 利用者の推移

(1)入・退所者推移

	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	R1.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1
男	28	29	29	29	28	28	28	28	28
女	15	15	15	15	15	15	15	15	15
対前年度増減	+1	0	0	0	-1	0	0	0	0
合計	43	44	44	44	43	43	43	43	43

※R4年度平均利用者数：43.3人

(2)性別・年齢別表(R5.3.31 現在)

	34	35	36	39	44	45	46	47	48	49	50	51	52	55	58	59	合計	平均
男	1	1	0	1	1	0	1	3	3	1	4	5	3	2	1	1	28	48.3
女	0	0	1	0	0	1	0	1	2	2	4	0	4	0	0	0	15	49.6
計	1	1	1	1	1	1	1	4	5	3	8	5	7	2	1	1	43	48.4

(3)市町村別利用状況(R5.3.31 現在)

	金沢市	野々市市	内灘町	津幡町	七尾市	白山市	小松市	かほく市	合計
男	22	1	1	0	1	0	0	2	28
女	5	1	1	2	3	2	1	0	15
計	27	2	2	2	4	2	1	2	43

(4) 障害支援区分別表

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6
男	0	0	0	2	16	10
女	0	0	0	1	8	6
計	0	0	0	3	24	16

※平均支援区分：5.3

※重度認定者：24名

2. 職員構成

R5.3.31 現在

	現員数	定数比		現員数	定数比
施設長	1	0	事務長	1	0
サービス管理	1	0	事務員	1	0
支援課長	1	+3.2	管理栄養士	1	0
生活支援員	23.2				
看護師	1	0			
			合計	31.2	+4.2

3. 実施した主な行事

月	行 事	主 催	場 所
4月	新緑喫茶	はぎの郷	正面玄関
7月	シェイクアウト石川に参加	石川県	各生活棟
	カレーのキッチンカーが来た	はぎの郷	駐車場
8月	花火大会	はぎの郷	駐車場
9月	お彼岸おはぎづくり	はぎの郷	各生活棟
10月	秋まつり	はぎの郷	駐車場
11月	パフェのキッチンカーが来た	はぎの郷	駐車場
	ハロウィンパーティー	はぎの郷	各生活棟
12月	クリスマス忘年会	はぎの郷	各生活棟
1月	新年を楽しむ会	はぎの郷・	各生活棟
2月	節分・バレンタイン	はぎの郷	各生活棟
3月	パフェのキッチンカーが来た	はぎの郷	駐車場
	ホワイトデー	はぎの郷	各生活棟
	お彼岸おはぎづくり	はぎの郷	各生活等

4. 職員研修及び関連研修

日付	分類	内 容	備考
R4. 7. 5	研修	職場環境改善研修会 (石川県リハビリテーションセンター)	
7. 8 15	研修	強度行動障害支援者養成研修：基礎	
9. 12 13	研修	強度行動障害支援者養成研修：実践	
11. 26	Zoom	全日本自閉症支援者協会 北信越ブロック 情報交換会	
12. 6 R5. 1. 13	研修	石川県災害派遣福祉チーム員フォローアップ研修	
12. 11	パース 公開講座	発達障害を学ぼうデー 「発達障害のあるお子さんの家族支援」「発達障害支援の最前線」	
1. 5(木)	講習	普通救命講習 I	

1.31	研究発表	石川県特別支援教育振興会 研究発表 独特の個性が生み出す芸術活動支援を通して ～Thanks 美術教室での活動から～	
2.16	web 研修	石川県知的障害者福祉協会 アンガーマネジメント のすすめ	
3.3	パース 公開講座	応用行動分析を活かした支援	
3.15	Zoom	全日本自閉症支援者協会 北信越ブロック 個々の理解とチーム支援	
3.1～17	Web 講義	国立のぞみの園セミナー 知的障害者の認知症判断 基準・早期発見・支援	
3.1～17	Web 講義	国立のぞみの園セミナー 食と口腔衛生	

5. 受諾研修・ボランティア・見学等

(ア) 受諾研修及び実習

施設実習	R4.5.30～6.10	金城大学短期大学部 2 年生	1 名
施設実習	6.13～24	金城大学短期大学部 2 年生	1 名
施設実習	9.10～16・21 10.20・21	金城大学社会福祉学部 2 年生 ※コロナの影響で期間が分断された	1 名
施設実習	10.3～14	石川県立保育専門学園 2 年生	1 名

(イ) ボランティア ※来郷時は検温・消毒を徹底

内容	備考
織物作業指導	毎月 1 回
PC クラブ・インターネットカフェ	主に第 1・3 水曜日

(エ) 見学

随時、見学希望・相談等に対しては、オンライン等を利用して受け入れてきた。

6. 支援全般について

1) 令和 4 年度も新型コロナウイルス感染症の状況を判断しながらの支援体制を取ったが、帰省・面会等は月に 1 回、日を指定して行った。「施設に感染を持ち込まない」ということを原則として、感染症対策委員会の主導にて感染予防に向けた取り組みを徹底し、来郷後の要注意期間を設けたり、全体での活動から各棟毎の生活・日中活動へと切り替えて、その中での利用者お一人おひとりに応じた支援のあり方を考えながら職員全体で取り組んできた。

8/10 に新型コロナ感染症が職員から発症し、その後感染が広がり、利用者 43 人中 42 名、職員 21 名が陽性となる大きなクラスターを発生させてしまった。医療機関もひっ迫しており、十分とは言えない施設での支援体制であったが、かかりつけ医の由雄クリニック、河北中央病院、石川県中央保健所、石川県障害保健福祉課の皆様のご尽力により、幸いにも重症化した方はおらず、療養期間を終えることができた。

また、男女共に 50 歳を超える方が多数となり、今まで施設として経験した事の無いご病気を患う方や、思わぬ転倒による怪我が増えてきた。そうした高齢自閉症者に対する支援への知識や技術、具体的な取り組みが、今後更に求められる。

2) 職員の支援体制

「はぎの郷」は栄養、保健と密接に連携を取りながら日々の施設入所支援と生活介護（日中活動と生活支援）の 2 種類のサービスを提供している。

職員の勤務体制は、サビ管・生活支援員・看護師・管理栄養士等が常に連携を取り、24 時間通して、夜間は夜勤職員 3 人体制で、日中は日勤の他に早出 2 人遅番 3 人と複雑なローテーション勤務を行っている。その為、職員間の情報共有のシステムを導入し、連携を取っている。

3) 栄養

①委託業者との連携を密にとる。

②6 ヶ月に一度のモニタリング会議に参加し、栄養ケアマネジメントを行った。

③利用者の健康状態・ADL 状態・障害特性により特別食が増えてきた。

・栄養量 ・調理法 ・食事の形態（きざみ食、別盛り食） ・介助皿の使用

4) 医務

①健康診断、健康管理と疾病予防

◆ 健康診断（年 2 回／ 9 月・3 月実施）

◆ 歯科検診（年 1 回）

◆ 定期的な歯科通院

◆ インフルエンザワクチン接種（11/16）

◆ 新型コロナワクチン

・ 4 回目接種（9/7、10/5）

・ 5 回目接種（1/17）

②【医療連携病院】

医療法人社団浅ノ川 桜ヶ丘病院

【入院時の個別付添い対応】

利用者の入院加療中に、ご家族の付き添いが困難な場合、ご家族から要請があれば可能な限り、付き添いができる様に配慮しているが、これも職員の勤務ローテーションの中で配置していくことは難しい。

5) 防災

①毎月の防災訓練

利用者の避難行動をルーチン化し落ち着いて避難できるようになることを目的に、毎月様々な想定のもと、利用者・職員により消防署への通報訓練も含んだ防災訓練を行った。

日	想定時間	想定状況	備考
4 月 25 日	夜間想定	火災想定	
5 月 30 日	日中想定	火災想定	消防署への通報有り
6 月 29 日	日中想定	大雨警報下における土砂災害	
7 月 28 日	日中想定	激甚震災想定	
8 月 24 日	夜間想定	火災想定	
9 月 28 日	日中想定	火災想定	
10 月 26 日	日中想定	火災想定	消防署への通報有り

11月25日	日中想定	激甚震災想定	
12月26日	日中想定	火災想定（トロール）	消防署への通報有り
1月27日	日中想定	火災想定	
2月22日	日中想定	火災想定	
3月27日	日中想定	火災想定（トロール）	消防署への通報有り

・非常設備・防災備品の点検、防災食のローリングストック等は毎月実施してきた。

7. 各部門別 活動報告

1) QOL 向上担当部門

基本方針

ご家族と連携し、季節を感じながら、健康で心豊かな生活を提供する

重点目標：「新しい生活様式」を取り入れて安全・安心を保てるよう生活環境を見直し、一人ひとりの生活の基本部分に目を向けてQOLの向上をめざす

○日々の生活習慣の徹底

- ・手洗い消毒を徹底し、特に食事前・トイレ後・外出から戻った時に手洗いが抜けないようにした。
- ・職員のワンケアワン手洗いを徹底し、手指消毒液も常に携帯する。
- ・見通しを持って生活できるように予定表の作成と日課の掲示。
- ・館内の備品の管理は、すぐにわかるよう整理・在庫把握し、5Sを徹底した。

○健康管理

- ・毎日の健康把握（1日2回の検温）
- ・健康状態の把握（月1回のほけんの日：体重・腹囲・血圧、脈拍、体温などを測定、記録する）
- ・歯磨きは、必要なのは利用者が自分の歯を磨く技術向上ではなく、職員が利用者の歯を磨く介助技術の向上。
- ・利用者の高齢化に伴う、介護の知識や技術の習得。

○余暇支援

感染症対策で各棟ごとの余暇イベントを実施した。

- ・季節が感じられる小行事と土日を中心とした余暇活動の提供。
- ・入浴後の喫茶や夜のおやつ提供とお菓子作り。
- ・月に一度の「誕生日おめでとう」のケーキ。
- ・各生活棟での季節に応じた室内装飾活動。

2) 日中活動支援部門 ■療育活動■

基本方針

健やかな心身を維持し、四季を感じながら豊かな生活を送れるようにする

① ウォーキング活動・リトミック活動

午前中は各棟別での運動を行っている。限られた職員数での活動となり、単調なものとなっているが、個別アセスメント、モニタリングを基に、「運動量」や「ペース」に焦点を合わせた運動の必要性を感じ

ている。

◆ウォーキング活動

目的・方針

施設周辺や森林公園・宇ノ気運動公園などの屋外において、屋外の開放感・季節を楽しみながら、歩いた達成感を感じられるウォーキング活動に取り組む。

- ・各棟別でのウォーキング活動を行い、バスを使用する活動に関しては、各棟が交わらないように行った。

◆リトミック活動

目的・方針

・音楽に合わせた身体活動により、楽しく身体機能の維持を図る。

- ・各棟内リトミックやステージ前を利用した外リトミック、トルでの活動を行った。

② ヨガ・ダンス活動

目的・方針

・音楽やリズムに合わせて心身のリラックスを体験しながら、筋力アップや柔軟性向上などの身体機能に働きかけていく。

【ダンス・ヨガ教室（外部講師）】

活動日は、ヨガ 第2,4木曜日 午後 2回/月、ダンス 第3木曜日 午後 1回/月

場所はトル体育館を使用。

- ・専門的な視点からの体の動かし方を教えてもらい、体感することができる。
- ・楽しみにしている利用者も多く、リラックスできる活動となっている。

③ 美術教室「サンクス美術教室」

目的・方針

・利用者の創作活動を通じて、自己表現の場を設け、生きがいや自信につなげる活動にする。
・職員との新しいコミュニケーション手段の発見につなげる活動にする。

【美術教室（外部講師）】

活動日は第2,4火曜日 午後 2回/月

場所ははぎの郷食堂を使用。

- ・毎回季節ごとのテーマをもとに下絵や道具等を用意し、参加した利用者は自由に色を塗ったり、シールを貼ったり、各々の楽しみ方で過ごしている。
- ・楽しみにしている利用者も多く、下絵を選んで丁寧に色をぬっている様子がみられる。
- ・自由な表現活動の場となっている。

3) 日中活動支援部門 ■作業活動■

基本方針

- ・「自分の仕事」という自覚と責任感を持って自主的に取り組める活動があること
- ・活動の場面に応じて適した清潔な衣類に着替えること
- ・活動の場には必ず職員が同席し、適切な関係が保たれていること
- ・活動を通して、その文化に触れたり、人との交流が生まれていること
- ・活動により、報酬や他からの感謝、自身の健康など恩恵を受けていること

① 業活動全体の取り組みと成果

作業班メンバーの編成を見直したことで、利用者一人ひとりに目を配ることができるようになった。

各棟活動中心で日中活動を行っている。

A：ポビン・アルミ缶、B：畑・自分作業、C：織物・園芸・環境整備 を中心に担っている。

②各作業班の取り組みと成果、課題

作業班	作業内容	取り組みと成果	課題
C 棟作業 (織物)	①織物 結び織 機織り	・利用者各々の作業スペースと個々に応じた道具や材料を提供し、個人のペースで取り組むことができた。	・在庫の管理。引き続き販路を検討する。
	②染色 染材採り 染材ちぎり 染液づくり	・乾燥藍染め	
	③園芸	・花壇の整備 土作り、苗植え除草を行った。	
A 棟作業 (軽作業)	①ボビン 残糸巻取り	・作業空間を利用者にわかるように机と椅子の配置を検討した。 ・自主的に判断し作業を進められる「グループA」と、支援が必要な「グループB」に大まかに分かれる事で、作業工程に目を配ることができた。 ・利用者の様子を見て作業場所や支援内容は調整していく。	・利用者への働きかけを統一できるように、それぞれの課題を支援者が共通理解する。
	②新たな軽作業 ネジまわし 色分け課題等	・ボビンや、アルミ缶が不足しそうな時に随時、取り入れた。 ・ボビンの糸の量によって作業量が左右されないため、利用者によっては安定できる活動ともなっている。	・ボビンが無い時には「課題」としてネジやその他の軽作業も取り入れる。 ・環境整備も積極的に取り入れる。
	③アルミ缶 アルミ缶潰し	・作業時『軍手』を着用して、アルミ缶つぶし時の安全に配慮した。	・アルミ缶置き場の衛生を維持する。
B 棟作業 (畑)	①畑作業 畝づくり 苗の購入 苗植え 雑草とり 支柱立て 看板作り	・畑作業の作業内容・進捗の理解不足。年間計画を立てることができていない。 ・収穫野菜はお菓子作り等の材料として、計画的に消化し、直接的な形で労働の恩恵を楽しんでいる。	・菊芋の漬物加工を目指す。 ・畑作業の知識と技術向上がないままである。 ・農閑期の作業場所の狭さと寒さ。
	②小物(装飾品)作り 毛糸のポン玉 プラ板 まつぼっくり 採集 仕分け 種とり	・個人目標を作ることができていない。	・利用者主体の作業活動にしたいが慣れないということもありつい職員の手が出てしまう。 ・継続性がない。ヒット商品を開発したい。 ・畑班作業全体の計画カレンダーの作成。
	環境整備	・「はぎの郷」周辺の草むしり、腐葉土作りなど随時取り入れ	

		た。
地域交流活動		・津幡高校との交流は新型コロナウイルスの影響で行わなかった。

8. 環境の整備・修繕等（主な工事）

着手日	完了日	工事名	工事内容	備考
9/12	9/12	処理溝電磁弁修繕		
10/19	10/28	本館空調冷温水管	部品交換	経過観察中
10/19	11/19	はぎの郷本館男性棟裏の乾燥室の更新	大型乾燥機の外建屋の建て替え工事	
9/21	9/22	男性棟キッチン温水器更新	温水器更新	
9/21	9/30	男性棟・女性棟換気扇修繕	修繕工事	
9/21	9/30	男性棟・女性棟夜勤室空調	修繕工事	

令和4年度「ホームすぎな」事業報告

1. 利用者の状況

(1) 利用者の性別、年齢、市町村別状況

- ・現利用者は6名（定員7名）、全員男性、平均年齢：50.8歳
- ・出身市町：金沢市(4)、かほく市(1)、白山市(1)
- ・現住所：金沢(3)、津幡(3)

(2) 障害支援区分

- ・区分4（4名）
- ・区分5（2名）

(3) 日中活動

- ・6名全員、平日の日中はジョブスタジオノームに出勤して生産活動や受託作業等の作業に従事されている。

2. 職員配置

- ・管理者(1)・・・常勤（兼務）
- ・サービス管理責任者(1)・・・常勤（兼務）
- ・生活支援員(2)・・・非常勤専任2、常勤兼務1
- ・世話人(1)・・・常勤（専任）

3. 年間延べ利用日数

令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
2,096日	2,082日	2,107日	1,782日

※新型コロナ感染対策のため、はぎの郷と同日程で、月1回の週末帰省を実施できるよう調整した。8月施設内で感染が拡大する事態となり、予定していたお盆期間中の長期帰省は中止とした。

4. 行なった環境改善

- ・春先から廊下・リビングの天井に黒カビが拡大。建物全体の換気システムを見直し、屋根裏全体に排気のための換気扇を設置。各居室や今回カビが増えた場所の天井に吸気ガラリを設置したことで、湿気防止だけでなく感染予防対策上も効果的な換気対策を行うことが出来た。
- ・コロナ対策上、リビングと調理ゾーンを間仕切りで仕切ったが、消防署の立ち入り検査でスプリンクラーの追加が必要との指摘を受け、既存の管にヘッドを2箇所追加する工事を行った。
- ・夏場の入浴の際、窓を開けると通りから丸見えだったので目隠しを設置した。

5. 支援内容

- ・すぎなで行っている支援やご利用者の状況がはぎの郷・ノーム支援員に理解されていないと、万が一の際のバックアップが困難になるため、今年度5月に導入されたクラウドシステムを活用し、朝・終礼時に、すぎな利用者のご様子や支援内容を全職員で共有できるように努めた。ノームの生活支援員をすぎな利用者6名の情報共有担当者とし、切れ目や祖語のない支援を目指した。
- ・ノーム休日や週末の余暇活動支援の充実を図り、新たに創作活動等のプログラムを実施した。
- ・帰省から帰ってきた日から3日間や発熱者が発生した場合には、各ご利用者は自室にて食事を摂っていただく体制とし、万一の場合もクラス拡大が起きないような生活習慣の定着に努めてきた。
- ・消防への通報を含む防災訓練は2回実施した
その他、非常防災設備の点検（業者委託）、防災用品・防災食の管理等、行った。

7月12日(火)15:30～	巨大地震想定	消防通報あり
3月18日(土)13:00～	火災想定	消防通報あり

6. 課題

- (1)すぎなでの生活や余暇活動の中に、自己決定支援をさらに取り入れ、個別支援を充実させていく必要がある。
- (2)土日をホームで過ごすことが多くなり、行事のレパトリーを増やす必要がある。こちらも利用者同士での話し合いに基づいて内容を検討していきたい。
- (3)（継続）バックアップ施設であるはぎの郷の職員と、年々疎遠になってきており、休日等すぎなの仲間がはぎの郷に出入りしても対応できない職員が増えている。バックアップできる体制の維持は今後すぎながどのような体制を取ろうとも必要であるため、日頃の情報共有と職員の行き来が必要。
- (4)職員間の情報共有の強化、高齢化対策の強化を図るためにも、記録システムの見直し・活用の方法の見直しを行ってゆく。
- (4)近々には夜間支援体制も必要となってくる。

以上

令和4年度 ジョブスタジオ ノーム 事業報告

1. ご利用者の状況

(1)ご利用契約者数の推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男	17	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18
女	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	19	19	19	20	20	20	20	20	20	20	20	20

※令和4年7月：新規利用者1名ご利用開始

(2)性別・年齢別 人数表(R5.3.31 現在)

年齢	10台	20～	25～	30～	35～	40～	45～	50～	55～	60～	平均年齢
		24	29	34	39	44	49	54	59		
男	0	3	4	0	0	1	3	6	1	0	40.6
女	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	27.5
計	0	3	6	0	0	1	3	5	1	0	39.3

(3)市町村別ご利用状況(R5.3.31 現在)

市町村	金沢市	白山市	内灘町	津幡町	羽咋市	かほく市	小矢部市	計
男	9	1	2	1	1	3	1	18
女	0	0	1	0	0	1	0	2
計	9	1	3	1	1	4	1	20

(4)利用者の障害支援区分(R5.3.31 現在)

	利用者数	障害支援区分判定						未判定
		1	2	3	4	5	6	
男	18			9	2	2	3	2
女	2				1	1		0
計	20			9	3	3	3	2

(5)新型コロナウイルス感染症の影響

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
延べ利用者数	418	379	430	362	115	393	407	402	347	355	378	425
開所日数	23	21	24	20	10	23	23	22	23	21	21	23

※新型コロナウイルス感染症の影響で7/28～8/4、8/12、8/18～8/26の計15日を臨時休業とした。また8月中は営業日であっても送迎や給食提供ができず、ご家族にお願いした日があった。

※年間を通じた平均利用者数は16.4名(昨年度より1.2名減)となった。

2. 職員構成と異動

R5.3.31 現在

管理者	1	常勤
サービス管理責任者	1	常勤
目標工賃達成指導員	1	常勤
職業指導員	1	常勤
生活支援員	5 (3.52)	常勤／非常勤

※R4.5.6 生活支援員1名(8h) 採用

3. 実施した主な行事

(1) ノーム全般（施設行事・交流）

日	内 容	会場
4/2	自閉症啓発デー ブルーライトアップイベント	オンライン
4/27	八重桜ウォーク（倶利伽羅峠まで往復 16km）	倶利伽羅公園
	（保護者会）おやじの会 中止	
6/12	津幡町美化大作戦 参加中止、自主清掃実施	萩野台公民館
	梅干し作り（保護者会活動に協力）中止	
	萩坂地区合同盆踊り大会 中止	
	萩野台公民館 元気塾（放課後児童クラブ）支援 流しそうめんセッティング 中止	
	流しそうめん大会 中止	
7/12	チャンピオンカレーのキッチンカーが来た！	はぎの郷
10/13	秋のスペシャルウォーキング（往復 16 km）	森林公園
	はぎの郷まつり 中止	
11/8	秋まつり／たこ焼きパーティー	トロール
11/17	ボウリング大会	マンボウ金沢
1/11	成人式ダンスダンスフェスタ	トロール
2/10	みそ作り体験教室	トロール
3/8	ヤクルト健康教室	トロール
3/23	メープルハウス／パフェ・キッチンカー	はぎの郷

(2) 就労支援関連

4/16	「加賀料理 秋月」様 福祉事業所販売会に出品	加賀料理 秋月
10/6	西金沢駅前で開催されたガレージマルシェに出品	西金沢駅前
10/19	新たな木工作業の依頼を受け作業開始	㈱シモアラ様より
	P F U / P r o D e S 様 お届け販売会	本社/ProDeS 売店
12/23	F J I T 労働組合とのクリスマス販売会 今年度も対面販売中止、製品の予約販売のみ	F J I T 労組
<p>●津幡町役場、津幡町社協、ユニバーサル㈱のご協力にて季節の企画（母の日、父の日、ハロウィン、クリスマス、バレンタイン、ホワイトデー）においてチラシ回覧による注文販売を実施</p> <p>●本年も新型コロナウイルス感染症の影響で販売イベント等が中止、もしくは参加自粛となることが多かった。</p>		

(3) 生活・余暇支援関連

4/6	お花見ランチ	トロール駐車場
5/26	歯科検診	はぎの郷
④9/7、10/5	新型コロナワクチン予防接種（④、⑤回目）	全利用者④⑤
⑤1/16	トロール体育館④／はぎ食堂⑤	職員④
9/13	味噌開き	ノーム
9/16	健康診断	はぎの郷
11/16	インフルエンザ予防接種	はぎの郷
2/3	節分の集い in トロール	トロール
3/7	健康診断（はぎ・すぎな）	本館ホール

※労働の報酬を実感できるよう、ご家族のご協力を得て毎月の給料日を一部現金支給にし、貯金箱に積み立てを行い、「チャレンジデー」等の行事の費用に充てている。（H23 年度より継続）

3. 防災訓練

- ・秋と春の火災予防週間に合わせ、火災想定避難訓練を 2 回、実施した。同時に消防署への通報訓練も合わせて行い、防災機器の確認も行った。消火器の更新、誘導灯のランプ更新も行った。

4. 職員研修及び福利厚生

日付	分類	内容	備考
10～12月	厚生	職員健康診断	
7/8、7/14、7/15	研修	強度行動障害支援者養成研修(基礎)	講師として
9/12、9/13	研修	強度行動障害支援者養成研修(実践)	講師として

※オンラインの研修プログラムの利用

※研修大会オンラインの共有

5. 受諾研修・実習・ボランティア・見学等

(ア) 受諾研修及び実習 ※今年度該当なし

受入日(期間)	分類	所属	人数	延べ日数

(イ) ボランティア

来郷者	内容	備考
NPO 法人 ケーネット知楽市	インターネットカフェ PC 再生	主に第1・3水曜日 随時
石川工業高等専門学校	インターネットカフェ/PC 再生	随時

(ウ) 職員の委嘱業務・地域貢献等

津幡町共同募金会 審査委員	津幡町共同募金会
強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践) 企画委員	石川県
障害のある方のアート活動支援研究会 企画委員	石川県
自閉症啓発デー 関連行事	石川県自閉症協会

(エ) 見学者ご来訪

月日	見学者	備考	人数
12/19	PERT 研修教材 委託者	施設見学、業務打合せ	3
1/19	ご利用者様へのお見舞い	面会、業務打合せ	1
2/1	アート採用企業	施設見学、採用ご連絡	2

6. 整備・修繕工事等

(1) 洗濯機の更新

ノームでの作業の衛生に関係する大切な洗濯機が11年目にして故障したため、更新した。(4/11)

7. 助成、寄贈

- ・公益財団法人 JKA 補助事業により、送迎用車両【ワゴンタイプ】の整備を行った。補助事業の趣旨により、ハイブリッド型、飛沫防止シート装着の車両となり、燃費、安全性・快適性が高まった。

8. 今年度の取り組みの振り返りと工賃支給実績

(1) 支援全般について

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、対面でのイベント出店や外出行事等は行えなかったが、感染対策を考慮しながら新たな販売方法や行事を模索してきた。

【今年度の取り組み】

●工賃向上や社会参加につながる各種イベントへの出店・販路の拡大

令和4年度は、続くコロナ禍に対し、対面ではない形での宅配やドライブスルー販売、県のショッピングサイトによる販売を取り入れた。洋菓子工房のクッキー製造については原材料等の高騰に対し、7月より製品の値上げを実施した。

令和5年度に石川県で開催予定の国民文化祭に関連し、障害のある方の芸術活動を支援する機運が高まってきており、何名かの利用者の作品が企業から採用されることが増えてきており、日中の活動

時間の中に創作活動を取り入れることも増えてきた。

工賃支払総額・月額平均工賃はわずかではあるが向上させることが出来た。

●感染症への対策と仲間への生活支援

引き続き新型コロナ感染症に対して、施設に持ち込まないための対策を講じてきた。それにはご家族の皆様の日々のご協力が重要であった。残念ながら 7/27 に 1 名の陽性者が施設内で熱発し、4 名の感染に繋がったが、そこで拡大を食い止めることが出来た。その他、秋、冬と 1 名ずつの陽性者が現れたが、施設内感染には至らなかった。また、8 月のはぎ・すぎなでの感染拡大の時期には、ノームも休業とせざるを得ず、8 月の開所日数は 10 日間に留まってしまった。

今年度も大きく分けて、1 日を通して作業労働に従事される方（5 時間）と、午前運動（2 時間）・午後作業労働（3 時間）という日課で過ごされる方との 2 グループに分けた運営を行ってきた。

【就労支援事業収入と工賃支給】

	R4 年度	R3 年度	R2 年度	R1 年度	30 年度	29 年度	28 年度
① 就労支援事業収入	4,926,319	4,779,709	4,976,145	5,405,745	5,827,023	5,353,169	5,368,430
② 工賃支払総額	2,697,474	2,580,071	2,478,634	3,032,377	3,213,023	2,916,025	3,152,555
③ 平均工賃月額	11,527	11,416	10,871	12,959	13,192	12,356	14,801

(2) 各作業種目別実績

作業種目	具体的作業名	作業の内容・特徴	年間売上げ額 (売上全体に対する割合)	作業における課題
飲食品	食品加工 (焼き菓子作り)	洋菓子(クッキー)の製造 販売会やショップ販売の実施 企画セットやギフトセットの販売 企業等への注文販売	2,934,626 円 (59.6) %	宅配用セット商品の開発
日用雑貨・小物・木工(工芸)	ウェス加工 名刺・年賀状印刷 ポストカード メモ帳・木工 アート作品	・ノーム・はぎの郷利用者の絵 画を使用した自主製品作り ・昨年からの木工作業等、季節 製品等は本年も継続。	566,091 円 (11.5) %	イベント減少により販売は伸びていないが、「かける」の活動や百文祭の事業により利用者のアートが採用される機会が増えており、収入にも繋がっている。
下請け・内職	カーテンフック 組み立て作業 菓子ラッピング作業	・誰でも参加できる軽作業として、位置付けている。 ・常に材料の供給があるため安定して同一の作業活動を提供できる	953,896 円 (19.4) %	フック: 分かりやすい作業のため、ノームの活動の中心となっている。 ラッピング: 作業量が増えているが職員による検品作業も増えている
その他	PC再生	・利用者の社会参加・社会貢献の機会を広げる作業として位置付け ・多くのNPOやボランティアとの協働作業で実施している	176,906 円 (3.6) %	企業からの不用PCの提供が減少しており、再生台数も減少している
清掃業	清掃業務 ・環境整備	・業務訓練の一環として、同法人施設の清掃を部分的に実施している。 ・マニュアルに沿った業務を遂行できるよう支援している。	294,800 円 (5.9) %	作業マニュアルが形骸化し、作業者の自己流になりかけている

9. 自閉症啓発への取り組み

◎世界自閉症啓発デー Light It Up Blue2022 : 石川門ブルーライトアップへの協力

今年度もコロナ禍のため集合イベントは中止となったが、ZOOM による点灯式を行い、後日その様子を YouTube にて配信し、一般市民への自閉症啓発活動を行った。今年度よりブルーライトアップ点灯箇所が石川門・鼓門・金沢港と 3 箇所に増えた

◎強度行動障害支援者養成研修（基礎研修・実践研修）

県の研修の企画委員として参加し、県下全ての障害福祉事業所職員を対象に、強度行動障害に至る可能性のある自閉症児者への支援についての研修を実施し、自閉症者への支援に対する理解の浸透と、障害者虐待防止・権利擁護に繋がることを目指している。（継続中）

以上

発達障害者支援センターパース 令和4年度事業報告

1. センターの状況

(1) 職員配置

6名（内、常勤4名、非常勤2名）

(2) 実施場所

金沢市福久東1-56 オフィスオーセド2階建ての2階の2室を賃借

(3) 委託料

前年度と同額

2. センター事業の実施状況（表1）

			R4年度	前年度
(1) 発達障害児者及びその家族に対する相談支援・発達支援	来所、訪問、電話、Eメール	実支援人数	531人	684人
	原則、日曜・年末年始を除く9:00~17:30	延支援件数	2087件	2559件
	Eメールは24時間受付、緊急時は携帯電話等で時間外にも対応			
	心理学的判定	実判定人数	15人	9人
	情報共有等（調整会議）		27件	23件
	関係機関職員への助言（機関コンサルテーション）		1557件	2515件
(2) 発達障害児者に対する就労支援	来所、訪問、電話、Eメール	実支援人数	234人	210人
	原則、日曜・年末年始を除く9:00~17:30	延支援件数	2937件	2747件
	Eメールは24時間受付			
	情報共有等（調整会議）		160件	118件
	関係機関職員への助言（機関コンサルテーション）		1339件	762件
(3) 地域住民等に対する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 世界自閉症啓発デーについての広報活動 ペアレントメンターについての周知・理解 NPO法人への発達障害者支援に関する助言、説明会 ピアサポーターへの説明会 	実施回数	9回	58回
(4) 関係施設・関係機関等に対する普及啓発及び研修	センター主催または共催で企画した研修	実施回数	28回	16回
	ペアレンティング研修の主催、ペアレントメンター相談会の共催 他	延参加人数	271人	121人
	外部から講師依頼を受けた研修（講師派遣）	実施回数	30回	60回
		延参加人数	902人	819人
	教育関係者との合同研修会	実施回数	17回	27回
		延参加人数	174人	93人
(5) 関係施設・関係機関等の連携	連絡協議会の開催状況	実施回数	20回	8回
	<ul style="list-style-type: none"> 世界自閉症啓発デーin石川企画委員会 他 			
	<ul style="list-style-type: none"> 障害者総合福祉法第89条の協議会等への参加状況 地域障害者自立支援協議会（津幡町・かほく市・白山市） 市町発達障害者担当課長会議 石川県発達障害者支援体制推進会議等および石川県特別支援教育体制整備推進事業連絡協議会 	参加回数	8回	11回
	<ul style="list-style-type: none"> その他の協議会への参加状況 強度行動障害支援者養成研修企画委員会 	参加回数	12回	7回

3. 事業の実施内容（表2）

(1) 発達障害児者及びその家族に対する相談支援・発達支援

当事者・家族や関係機関からのニーズに対し、来所・訪問・電話・テレビ会議システム・Eメールなどの方法で相談を実施した。必要に応じて心理検査等のアセスメントや支援計画の作成を実施した。関係機関のコンサルテーションを実施した。

主な関係機関…保育所、小・中・高校、特別支援学校、大学、教育委員会、児童相談所、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所、医療機関、保健所、行政機関 など

(2) 発達障害児者に対する就労支援

当事者・家族や関係機関からの就労に関する相談に対し、来所・訪問・電話・オンライン会議システム・Eメールなどの方法で実施した。県青年期社会適応力向上事業としてNPO法人ケーネット知楽市と協働でのITサロンや安宅数楽塾と協働でのボードゲーム（能登地区および加賀地区）の開催に協力した。他、就労関係機関のコンサルテーションを実施した。

主な関係機関…医療機関、相談支援事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、公共職業安定所、企業、司法関係機関、行政機関 など

(3) 地域住民等に対する普及啓発

世界自閉症啓発デーin石川に関する企画・運営を、石川県自閉症協会やその他の関係者とともに実施した。（4月2日は新型コロナ感染予防のため、ライトアップに関する動画を生配信した）

(4) 関係施設及び関係機関に対する普及啓発及び研修

強度行動障害支援者養成研修の企画委員として基礎研修と実践研修の実施に協力した。

ホームページ及びブログの更新を随時実施した。

(5) 関係施設及び関係機関等の連携

発達障害者支援に関する様々な会議の企画・運営に協力、参加した。県及び市町の障害者自立支援協議会及び運営会議に参加した。

4. 家族の集い事業

(1) ペアレントメンター

石川県内の受講希望者を主体としたペアレントメンター養成講座フォローアップコースを実施した。それにより今年度新たに10名のペアレントメンターが誕生し、石川県の登録メンターは全部で70名となった。インストラクターは金沢大学の教授2名、その他石川県内で活動している臨床心理士や相談支援専門員らに依頼し、質の高い研修を実施することができた。

石川県自閉症協会げんきの会をはじめとする親の会主催の相談会、パースでの個別相談、オンライン会議システムを用いたメンター交流会、活動報告会、などに関して、延べ45名のペアレントメンター派遣をコーディネートした。

(2) ペアレンティング研修

子どもの発達・発育の偏りによる親の育児不安に関して、身近な地域で専門家の指導を受けられる環境整備の一環。児童発達支援センター、放課後等児童デイサービスの職員を対象とし、子どもへの関わり方について親・養育者等を指導できる人材育成を行う。今年度は〈基礎編〉として、市川宏伸氏『発達障害支援の最前線』、日詰正文氏『発達障害のあるお子さんの家族支援』、田熊立氏『応用行動分析学を活かした支援』の3つの講演会を実施した。

テレビ会議システムを用いた基礎講座を5回、フォローアップ研修を1回、計6回実施した。

(3) カサンドラ症候群の女性のためのグループワーク

昨年度好評であったTOC f Eのミニ講座と当事者同士の交流会を、講師を招いて4回実施した。（R3年度は1回）

5. 発達障害者地域支援マネジャー事業

県内各市町の発達障害児者の相談体制作りや困難事例への支援ができるよう、要請に応じて県内市町に延べ111回出向いた。（前年度は107回）

6. その他

パソコンサポート 月額3,000円×8か月分の加入